

2012年4月9日

報道関係各位

株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント

うめきた・グランフロント大阪
「ナレッジキャピタル」概要発表について
～参画者一部先行発表、サロン会員予約登録スタート～

株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント（本社：大阪市北区、代表取締役社長：間渕 豊、通称：KMO）は、大阪・うめきたにて現在建設工事中のグランフロント大阪（2013年3月竣工予定）の中核施設「ナレッジキャピタル」について、下記の通り、発表いたします。

<記>

1. The Lab. みんなで世界一研究所[project name]



「The Lab. みんなで世界一研究所[project name]」(B1F～3F、延床面積計約 3,100 m²)は、子供から大人まで、驚きの先端技術を見て、触れて、体験して、語り合うことができる楽しい交流施設です。参画する企業、研究機関、大学、クリエイターと一般の来場者が、展示やワークショップなどを通じて交流。世界一や世界初の技術、プロダクト、サービス、コンテンツの創出を目指します。

企業、研究機関、大学などの出展により構成される「カンパニーラボ」では、独立行政法人情報通信研究機構（NICT）による『200インチ裸眼立体ディスプレイ』を中心に、グリーンロードモータース株式会社、鴻池技術研究所、大日本印刷株式会社（DNP）、東京大学大学院情報理工学系研究科 廣瀬・谷川研究室、凸版印刷株式会社、日本電信電話株式会社、マッスル株式会社などの参画を予定しております。



(提供：NICT)

※今回発表の参画者は一部であり、他参画者については確定後、発表いたします。

2. ナレッジサロン



「ナレッジサロン」(7F、延床面積約 1,500㎡)は、企業人、研究者、クリエイターなど分野を越えた多様な人々の出会いと交流のための会員制サロンです。快適な空間を提供するだけでなく、専属のサロンコーディネーターを設置し、プロジェクトの立ち上げ・推進や、ニーズに応じた企業・人材の紹介などのサポートを行います。

明日、2012年4月10日より、ナレッジサロン会員の先行予約登録の受付を開始いたします。なお、正会員希望者対象に(※一部対象外あり)、入会意向表明書を提出いただいた限定300名様については、初年度会費を半額にてご提供いたします。

3. ナレッジシアター



「ナレッジシアター」(4F、約380席)は、舞台公演からビジネスユースにまで対応可能な多目的劇場です。演劇をはじめとするエンターテインメントや、新製品発表会、ビジネスセミナーなど、今後の関西の芸術文化とビジネスの発信・発展に貢献していきます。

4. コンベンションセンター



都心立地で本格的なコンベンション施設として、大ホール(約1,700㎡)と会議室(9室)を備えた「コンベンションセンター」(B2F、最大収容人数 約3,000名)。国際会議から見本市・イベントまで多様なニーズに対応。コンベンション業界のリーディングカンパニー「株式会社コングレ」が運営いたします。

5. FLS（フューチャーライフショールーム）



「FLS（フューチャーライフショールーム）」（1F～6F、延床面積計約 21,000 ㎡）は、近未来を提案する企業とユーザーの新しいコミュニケーション空間です。買うだけの店舗、見るだけのショールームから、買う、見る、参加する、学ぶなど、多彩な機能で来街者をワクワクさせる新しい価値を提案します。

FLS には、エー・ビー・シー開発株式会社（(仮称)ハウジング・デザイン・センター大阪）、学校法人 大手前学園、コカ・コーラウエスト株式会社、積水ハウス株式会社、淀川キリスト教病院などの参画を予定しております。

※今回発表の参画テナントは一部であり、他参画テナントについては確定後、発表いたします。

6. ナレッジオフィス・コラボオフィス・カンファレンス



イノベーション創出のための事務所スペース「ナレッジオフィス」、短期間・小規模で賃貸可能な「コラボオフィス」、各種会議に対応する貸会議室「カンファレンスルーム」など、豊富なオフィス機能を配置（7F～13F、延床面積計約 11,000 ㎡）。企業・研究機関・大学などの拠点と高度人材の集積を目指します。

ナレッジキャピタルは、分野を越えた多様な人々の交わりにより創出される「産業育成」、感性と技術の融合による新たな「文化発信」、アジアのゲートウェイとなる「国際交流」の拠点形成を目指す複合施設であり、これらを民間主導で行うという今までにない取り組みを実現します。ナレッジキャピタルで展開されるさまざまな活動から生み出された「新しい価値」を、大阪から日本へ、そして世界へ発信していきます。

KMO は、そのための「場」と「機会」を提供することを目的とし、総合プロデューサーに野村卓也氏（株式会社スーパーステーション 代表取締役社長）を据え、ナレッジキャピタルの企画・運営を行ってまいります。KMO は施設の管理・運営に留まらず、専門人材スタッフも配置し、ナレッジキャピタルでの活動をサポートしていきます。

以上

(ご参考)

【ナレッジキャピタルについて】

2005年にナレッジキャピタル企画委員会より提言された「ナレッジキャピタル構想」に基づき、UR都市機構ならびに大阪市により開発事業者募集コンペを実施。現開発事業者が選定され、事業推進を行う。

ナレッジキャピタルは、「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創出する複合施設として、多様な人々の交わりから、今までにない商品やサービスを生み出すことを目指しており、それらに必要な機能と施設を備える。

＜ナレッジキャピタル施設概要＞

- ・ 所在地： 大阪市北区大深町ほか
うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」Bブロック
地下2階～地上8階（B南タワー部）／～地上13階（B北タワー部）部分
- ・ 延床面積： 約88,200㎡

＜ナレッジキャピタル施設構成図＞



【株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント（通称：KMO）について】

ナレッジキャピタルを企画・運営する組織として、「グランフロント大阪」開発事業者12社の出資により、2009年4月に設立。まちびらき後はナレッジキャピタル施設の運営を担う。

【開発事業者12社（KMO株主）】

NTT都市開発株式会社、株式会社大林組、オリックス不動産株式会社、関電不動産株式会社、株式会社新日鉄都市開発、三井住友信託銀行株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、東京建物株式会社、日本土地建物株式会社、阪急電鉄株式会社、三菱地所株式会社

【うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」について】

梅田貨物駅を中心とする約24haの「うめきた」（都市再生緊急整備地域内）において、2005年6月に先行開発区域（約7ha）としてUR都市機構が「大阪駅北大深東地区土地区画整理事業」に着手、地権者であるUR都市機構と鉄道・運輸機構が開発事業者を募集。

2006年5月、11月に開発事業予定者が決定され、2007年6月に土地の引き渡し完了。2008年2月に「都市再生特別地区」として都市計画決定。2010年3月に新築工事着工。2013年3月竣工予定。オフィス、商業、ホテル・サービスアパートメント、分譲住宅、ナレッジキャピタルにて構成。



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント

担当：古市

電話：06-6342-8976

TheLab.

みんなで世界一研究所
(project name)

The Lab. はナレッジキャピタルに集まる新しい価値を展示し、国内外に発信する新しい文化装置です。参画する企業、研究機関、大学、クリエイター等と一般の来場者が共に活動し、世界一や世界初の技術、プロダクト、サービス、コンテンツの創出を目指します。

3F

・カンパニーラボ ・ディスカッションラボ
・オープンエキシビジョンエリア

国内外の企業、研究機関、大学による先端技術・コンテンツを年間通じて展示し、来場者の意見や反応を収集。

2F

・カンパニーラボ ・コラボレーションエリア
・アクティビティエリア ・プロトタイピングラボ

カンパニーラボ参画者や、様々な分野のコンテンツ提供者によるワークショップ、プレゼンテーションを頻繁に開催。

1F

・カフェラボ ・インフォメーション
・ショップ ・ナレッジギャラリー

ラボのコンセプトに沿って、先端的で独創的なスタイルを目指したカフェやコミュニケーションの場。

B1F

・イベントラボ

ナレッジキャピタルの自主企画イベント、企画展を開催するほか、企業のプライベート展示会等、レンタルスペースとしても利用可能。



参画者（企業、研究機関、大学、行政、NPO、クリエイター等）

コンテンツの展示やワークショップ開催を通じて、来場者の反応、評判の獲得や、コラボレーション先の開拓ができます。



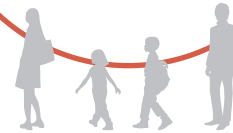
コミュニケーターが参画者と来場者をつなぎます

コンテンツのツアーガイドやワークショップの開発・運営サポート等、ナレッジキャピタル全体のアクティビティを高めます。



来場者（子供からシニアまで）

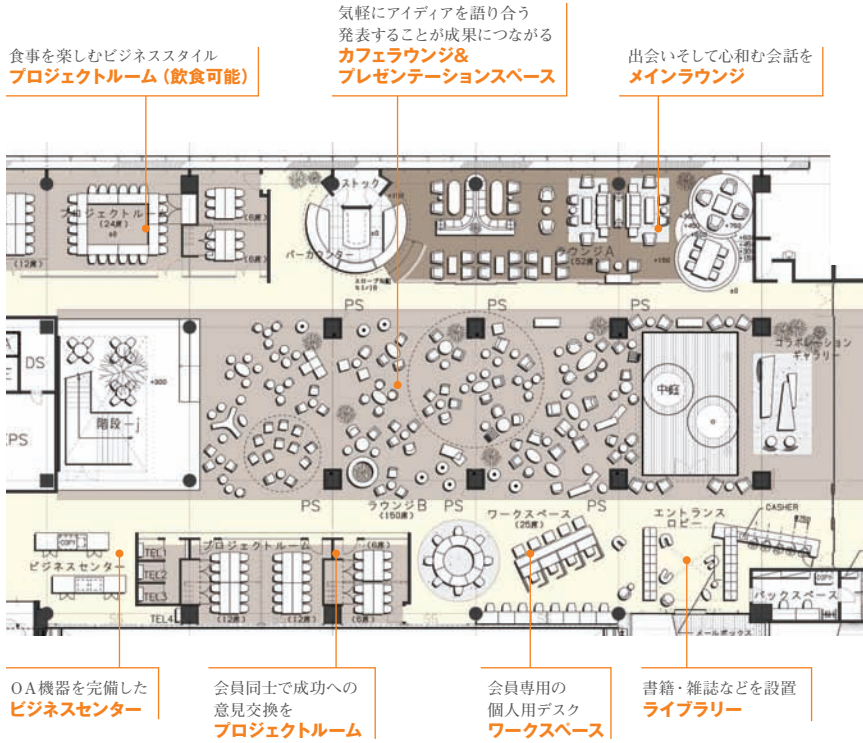
最先端技術や身近な商品に隠された面白いコンテンツを見て、触れて、学び、知的好奇心を満たすことができます。



Knowledge Salon

新たな「ネットワーク」を築こう！（会員制サロン）

ビジネスパーソン、研究者、クリエイターや学生、さらに年齢を問わず幅広い生活者が会員になって都心の上質な空間でくつろぎ、新しい「仲間」をつくり、勉強会やサロンイベントなどにも参加できる会員制サロン。新しい自分の意見や志を同じくする仲間との出会い、起業への道も。



ナレッジサロン会員
先行予約登録受付開始

限定 300 名様
初年度正会員会費半額

会費 (税込)

正会員 (個人・法人)

年額 105,000 円
月額 9,450 円 ※1

準会員 (個人・チケット制)

10,500 円
(5 回利用)

KCA 会員 ※2

A 会員

年額 315,000 円
(10 名記名式)

B 会員

年額 105,000 円
(2 名記名式)

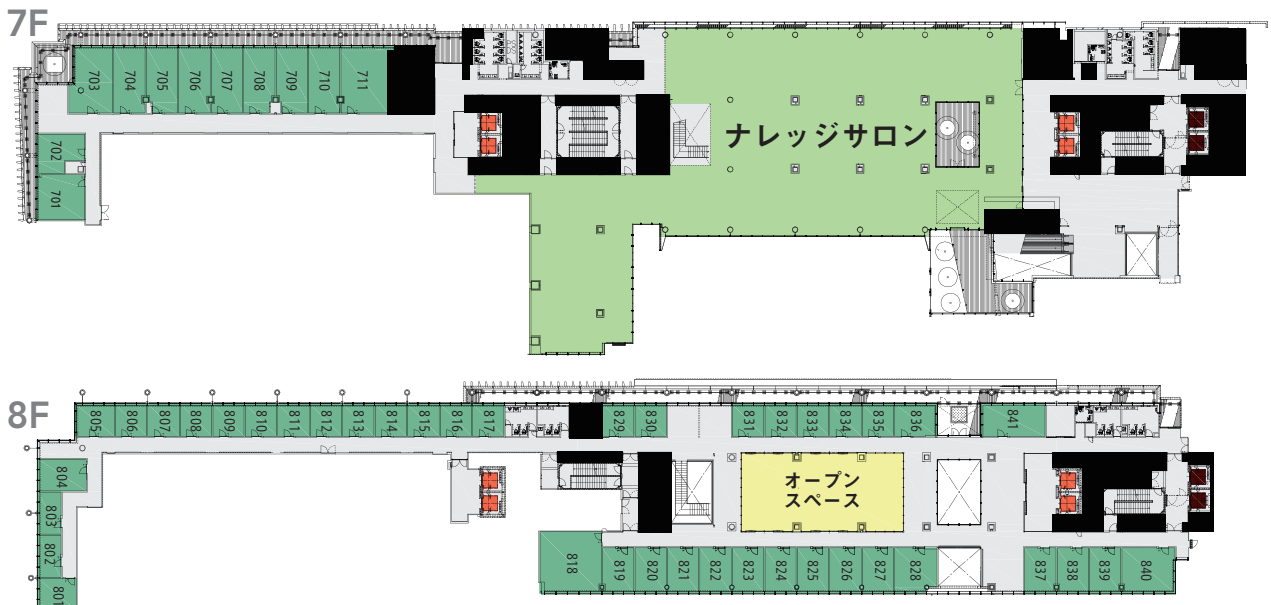
※1 個人のみが対象となります。
※2 大学および研究機関等の法人や
団体、またはこれらに勤務・就学する
個人の方が対象となります。

コラボオフィス

全52室 短期間・小規模で賃貸可能

ナレッジサロンに隣接し、おもしろい発想や先端技術が出会い、交わることで新しい文化や産業へ高めていく、ナレッジイノベーションの中心の場所。

教育・研究機関、メディア、ICT 技術者、クリエイター、企業のサテライト、ベンチャー企業、海外出先機関、プロジェクトチーム等の集積地。



※本資料は計画段階のものであり、今後変更の可能性あります。

2012年4月9日

報道関係各位

宗教法人 在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院
株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント

淀川キリスト教病院『未来型健診センター』

うめきた・グランフロント大阪「ナレッジキャピタル」へ進出

～2013年春誕生予定の「ナレッジキャピタル」に最先端のメディカル・ヘルスケア新拠点を設置～

宗教法人 在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院（所在地：大阪市東淀川区）と株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント（本社：大阪市北区）は、2013年春竣工予定のうめきた「グランフロント大阪」の中核施設である「ナレッジキャピタル」に『未来型健診センター』を開設することで合意に至りました。

【出店概要】

- ・ 出店予定名称
「淀川キリスト教病院・うめきたメディカルサロン(仮称)」
- ・ 出店予定場所
うめきた・グランフロント大阪 Bブロック
「ナレッジキャピタル」6階



『未来型健診センター』エントランスイメージパース

本施設は、淀川キリスト教病院（新病院）と密接にサービス連携を図り、最先端の予防医療の提供や、アジアをはじめとする海外からの健診ニーズに対応します。さらに、健康科学の研究開発と実証試験にも積極的に取り組み、ライフイノベーション創出を推進する機能を設置します。

また、ナレッジキャピタルに進出する企業、大学、研究機関など産・学・官・医との連携により、メディカル・ヘルスケア分野における新たなビジネスの創出・展開を行い、さらには海外ネットワークの構築により、国際的な健康・医療貢献に積極的に取り組みます。

【主な特徴】

- ・ 従来型の健康診断・人間ドック等の提供に加え、個人の健診データ・治療データ・ライフスタイル情報等を重視し、最先端の健診技術やデジタルヘルス等を導入・駆使した予防医療サービスを提供。また、海外からの健診ニーズに対しては、本院と連携し的確に対応。
- ・ ナレッジキャピタルに進出の企業、大学・研究機関等と密接に連携し、国際戦略総合特区の取り組みに積極的に参画し、ヘルスケアイノベーションの推進にも貢献。
- ・ 海外の医療機関、大学・研究機関等とのネットワーク構築を進め、国際的な健康・医療貢献を積極的に展開。

参考資料：

【淀川キリスト教病院 概要】

1955年（昭和30年）に米国長老教会の医療宣教師フランク・A・ブラウンによって大阪市東淀川区に設立。キリスト教精神に基づく『全人医療』の理念のもとに、周産期、救急・急性期、終末期に至るまでの幅広い医療を提供している。地域医療支援病院や地域周産期母子医療センター、大阪府がん診療連携拠点病院に認定されるなど、地域の中核病院としての役割を担っている。また、病院の草創期において、当時の日本では見られない医療社会事業部の設置、病院ボランティア活動の開始、血液型不適合児に対する交換輸血を行い、1984年（昭和59年）には関西初のホスピスを開設するなど、医療界において先駆的な活動を行ってきた。こうしたこれまでの取り組みが評価され、2010年に『週間ダイヤモンド』（ダイヤモンド社）が実施した都道府県別「頼れる病院ランキング」では大阪府で第2位（民間病院では第1位）にランキングされた。運営状況も評価され、(株)日本格付研究所による格付け『A』（シングルAフラット）の認証を受けている。

現在、病院の移転・新築プロジェクトが進んでおり、2012年7月に「チャペルを中心とした癒しの病院」をコンセプトとした新病院が開院する予定である。



新病院イメージパース

【ナレッジキャピタル 概要】

「ナレッジキャピタル」は、うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」の中核施設。「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創出する複合施設として、多様な人々の交わりから、今までにない商品やサービスを生み出すことを目指しており、それらに必要な機能と施設を備える。株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント（KMO）がナレッジキャピタルの企画・運営を行う。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

淀川キリスト教病院／広報：鈴木

Tel: 06-6322-2250

株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント／広報：古市

Tel: 06-6342-8976

JR大阪駅に直結

ナレッジキャピタルに本格的コンベンションセンター

北海道洞爺湖サミットの運営など、「国際会議No.1企業」のコングレが開設

コンベンションの企画・運営最大手の株式会社コングレ（本社：大阪市中央区、代表取締役社長 隈崎 守臣）、および株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント（本社：大阪市北区、代表取締役社長 間瀬 豊）は、大阪再生のビッグプロジェクトとして注目を集めるうめきた・グランフロント大阪の中核施設「ナレッジキャピタル」内に本格的なコンベンションセンターを開設します（2013年春開業予定）。

新しい都心型コンベンション施設

- アジアや世界を結ぶ情報・文化の交流拠点

本コンベンションセンターは、JR大阪駅に直結。3,000名級のコンベンションに対応でき、用途に応じて2・3分割可能な約1,700㎡のメインホール(天井高7.2m)をはじめ、9つの会議室を備えています。国際会議・学術会議、講演会、展示会・イベントなど多様なニーズにお応えします。

アジア・世界への窓口として期待されるナレッジキャピタルのコア施設として、また、関西イノベーション国際戦略総合特区構想にも合致した施設として、関西の経済発展に貢献します。



注目される経済波及効果

- 日本ではじめての「民設民営」の施設がうめきたに -

まちづくりにおけるコンベンション施設の果たす役割、特に集客による経済波及効果は世界的にも重視されています。

日本においても、都市再開発の目玉として、全国の自治体が競ってコンベンション施設の建設に取り組んでいます。



コングレは「国際会議のコングレ」として、北海道洞爺湖サミット等の大型閣僚級国際会議の実績で知られるコンベンション業界のトップ企業です。また、名古屋国際会議場など全国で63箇所のコンベンション・集客施設の運営を行っており、ソフトとハードの両方を知る企業です。近年はこうしたノウハウを評価され、自治体に対してコンベンション施設を中心としたまちづくりのコンサルティングも数多く担当しています。

今回は蓄積したノウハウをコングレが本コンベンション施設に注ぐこと、また民間企業が公的な資本なしでつくる「民設民営」の本格的なコンベンションセンターは、日本でははじめてのケースであり、しかも「ナレッジキャピタル」のコア施設という事で業界の注目と期待を集めています。

【お問合せ先:コングレコンベンションセンター 開設準備室】

住所 〒541 - 0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 コングレビルディング 株式会社コングレ大阪本社内
TEL 06-6292-6911 FAX 06-6292-6921 メールアドレス ccc@congre.co.jp
ホームページ <http://www.congre.co.jp/>
担当 近久(ちかひさ)、能邨(のむら)

【ナレッジキャピタル全体のお問合せ先: 株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント】

TEL 06-6342-8976 担当 古市

株式会社コングレ 会社概要

社名：株式会社コングレ 代表者：代表取締役社長 隈崎 守臣
設立：1990年6月25日 資本金：9,900万円
年商：102億円（2011年3月） 社員数：250名（契約社員 約1,100名）
事業所：大阪／東京／名古屋／福岡／札幌／仙台／京都／北京

グループ会社：

株式会社沖縄コングレ／沖縄初の本格的コンベンション企業
株式会社スペースメディアジャパン／海外見本市・展示会・イベントの誘致・企画・運営会社
株式会社ミス・ワン／IT企画開発、システム開発会社
康格会展（上海）有限公司／中国の会議・展示業界で独資により初めて認可された現地法人
Global Expo & MICE Management Co. Limited／日系のMICE専門企業として初の香港法人
一般社団法人 MICE総研／MICE領域に特化した日本初の産業シンクタンク

主な実績：

【国際会議・学会の企画、運営、誘致】

北海道洞爺湖サミット首脳会議・関連関係会合、G8サミット財務大臣会合・環境大臣会合、
国連防災世界会議、地球温暖化防止京都会議（COP3）、日本医学会総会、第14回国際免疫学会議 など

【会議・文化施設の運営管理、指定管理者業務】

名古屋国際会議場、長良川国際会議場、大阪歴史博物館、大阪市ビクターズインフォメーションセンター、
大阪城天守閣、六本木ヒルズ、上海環球金融中心 展望台、新江ノ島水族館、京都水族館、すみだ水族館、
日本科学未来館、新潟県立自然科学館 など

ナレッジキャピタル概要

【ナレッジキャピタルについて】

2005年にナレッジキャピタル企画委員会より提言された「ナレッジキャピタル構想」に基づき、UR都市機構ならびに大阪市により開発事業者募集コンペを実施。現開発事業者が選定され、事業推進を行う。

ナレッジキャピタルは、「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創出する複合施設として、多様な人々の交わりから、今までにない商品やサービスを生み出すことを目指しており、それらに必要な機能と施設を備える。

<施設概要>

所在地： 大阪市北区大深町ほか

うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」Bブロック

延床面積： 約88,200㎡

【株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント（通称：KMO）について】

ナレッジキャピタルを企画・運営する組織として、「グランフロント大阪」開発事業者12社の出資により、2009年4月に設立。まちびらき後はナレッジキャピタル施設の運営を担う。